

shab©n・marikoの
ネコとツンデレな私

愛猫アクアの生き様を師匠とするmarikoの
形式問わず、思うがままに書いていくツンデレなコーナー

第15回

～何歳までがガール、女子？～



今月のネコ様。

ごやんだ～とドヤ顔のオールバックヘア凛々しいネコさま。

「ご」も、マリコです。最近やたらと「○○女子」「○○ガール」という呼び方をしますよね。この風潮には、なんだかなあと言っている感じがします。50代の女性に、「女子」はいいですよ！とかいえば、でもね、私はこの風潮、とても素敵だと思つてます。胸を張って「○○が好きだ！」と言える魔法の呼び名。ユタクだと胸を張れる！「○○ガール」「○○女子」は、そんなまじかになんか思つて思つて思つて思つて。80代になつて、回数は「○○ちゃん」「○○クン」と呼び合つて、「女子たち」が来て、「なんと言つてもええ。ガール女子は青春の輝きを放つのです！実は私、いこうと「ガール」な一面を持っています。

●マンホールガール、マリコ

「ご当地」のデザインマンホールが大好き！足下に見つけるとやっとなら！と宝物を見つけた気持ちになります。これは先月、早島のライプの際に見つけたマンホール。(写真左上)そして広島マンホール。(写真右下)



県内だけでも多数種類があったり、またカラー版、白ー色、ミニバージョン等たくさんあるんですよ。全国で「マンホール」と呼ばれる方が多数いらっしゃるかと。中には外国の方も。土を向いて歩くと歌いながら、土を向いて歩く楽しみが、おまけに小銭拾ってラッキーとか、あったりして。

●古墳ガール、マリコ

ひんやりかきかから只今、古墳&パワースポットのたぐいさんあるゾーンに住んでいます。その古墳はなんと弥生時代の日本最大級墳丘墓。あんなに歴史が苦手で、私が、偶然出会うのは弥生土器復興プロジェクト。近い将来、私の地元が世界的観光地となり、手づくりカフェを開くの

が密かな夢の一つ。古墳ガール見習いとして、初心者マークの私。歴史をライブで「ロボ」した福本明氏さんに「オトノフ」(ジヤケ写真は構築遺跡にて撮影)を贈呈。(写真左)



●ヨガガール、マリコ

Yogaは座禅の起源とも言われ、自分自身と向き合いながら呼吸法、プリーイングエクササイズ、アーサナと言われるポーズをします。ヨガをする人のことをヨギーと呼びます。今日の私は堅いな、柔らかいな、いつも骨盤開き、健康状態のチェックにもなっています。やっぱり大好きなのはシャバアサナ(大の字に寝転がる尻のポーズ)！笑↑これを言ったらヨガ仲間にはウケるヨガがあるある！ヨガ歴一年半、まだまだこれから。家では古城レイコさんのハンドメイドキャンドルともラックします。(写真右)



このライブ会場でも一緒にラッタンサーの方に憧れ、今、その先生に習っています。手話の様に自然を身体で表現すること、自然体の笑顔が身に付くと。私はそれがshab©nの音楽の表現をきくと奥深くまで確信しています。70、80代でも若々しく踊られている先輩方に勇気をもらって毎日。今の目標は、フワを踊れるのはもちろん、オリジナルの曲をハンドブック、自身も歌いながら踊りライブです。公にはしていませんが、口今練習を続けているんです。先日初めてのステージに立ちました。今後をお楽しみに！

●フワガール、マリコ

死ぬまで続けたい趣味。猫フェチなのではなく、黒ヤギの親子、千々丸とロウロウの出会いがきっかけです。死ななまじか、それにヤギさん、ここの本音「ムエー！」って鳴くんです。2001年の12月、初披露！私が撮影したヤギ写真展とともにもライブをする事になりました。写真デビュとなりました。



●ヤギフェチガール、マリコ



●2016年、挑戦したい「○○ガール」は？！

勉強したいことはいっぱいあります。まず、色彩について勉強したい。色から受ける影響は、とても大きいと言います。今までは何となくの感覚で色を選んできたけれど、衣装やビジュアルでも色の持つ力を知って表現できたらと思っています。今年もやってくる来年も続けたい、英語の勉強「バイリンガル」！勉強したい言葉は苦手だから、映画をひたすら繰り返し見たいです。日本語字幕→英語音声字幕→英語のみ。肝心の単語の暗記を、新年はがんばりたいな。来年から始めた、「座禅ガール」。普段から私は何かとチエツクしてしまつて、生活の知恵袋や、アロマやハーブのこと。それは結局地球にも優しいお財布にも優しいこと、ということ。当然身体や人にも優しいので、座禅で何が言

たかつたかと言つて、心も身体も脳も燃費をよくなりたい！ってことなんです。おあきく考えたら私たちは地球の一員！やりたいことは尽きない、山の様に！いつまでもガール！オトノフ！！繋がるセカイ〜！！



RSKイブニング5時出演番組 EDテーマ曲「オトノフ〜繋がるセカイ〜」

プロフィール：マリコ
猫と暮らすアーティスト、シンガーソングライター。サウンドエディタ shingokun とユニット「shab©n」で活動中。ユニット名「shab©n」の由来は、大好きなシャボソ玉から。癒しの歌は天使の声と呼ばれる。スローライフ、スローライフをテーマにライブを行っている。ライブでは歴史家やアロマ空間、アーティスト、キャンドル、アティスタ、ハーブなど、ライブポート。ヤギの親子とのライブも。作東ハルタインホテクトVCMV出演中。毎月10日更新チャンネル「cannet channel」shab©n-artist パーソナリティ。東京アースワーカープロジェクト「環境音楽部門」メンバー受賞。